

岡山県感染症週報 2024年第49週 (12月2日～12月8日)

◆2024年 第49週 (12/2～12/8) の感染症発生動向 (届出数)

岡山県は『インフルエンザ注意報』発令中です

■全数把握感染症の発生状況

第48週	2類感染症	結核	1名 (乳児 女)
	5類感染症	アメーバ赤痢	1名 (60代 男)
		急性脳炎	1名 (高校生 女)
		梅毒	1名 (30代 男)
第49週	2類感染症	結核	1名 (70代 男)
	5類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1名 (80代 男)
		急性脳炎	1名 (小学生 男)
		梅毒	2名 (20代 女 2名)
		百日咳	2名 (中学生 女 1名、50代 女 1名)

効果的な場面でのマスク着用!



©岡山県「ももっち」

■定点把握感染症の発生状況

患者報告医療機関数：インフルエンザ/COVID-19 定点 84、小児科定点 54、眼科定点 12、STD 定点 17、基幹定点 5

- 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) は、県全体で 265 名 (定点あたり 3.15 人) の報告がありました。
- インフルエンザは、県全体で 525 名 (定点あたり 6.25 人) の報告がありました。
- マイコプラズマ肺炎の報告が多くなっています。

1. [新型コロナウイルス感染症 \(COVID-19\)](#) は、県全体で 265 名の報告があり、前週から増加しました (定点あたり 2.62 → 3.15 人)。詳しくは、「[★新型コロナウイルス感染症 \(COVID-19\) 情報](#)」および岡山県感染症情報センターホームページ「[新型コロナウイルス感染症 \(COVID-19\) 情報](#)」をご覧ください。
2. [インフルエンザ](#) は、県全体で 525 名の報告があり、前週から増加しました (定点あたり 3.92 → 6.25 人)。岡山県は 11 月 21 日に「インフルエンザ注意報」を発令し、広く注意を呼びかけています。詳しくは「インフルエンザ週報」および岡山県感染症情報センターホームページ「[2024/25年シーズン インフルエンザ情報「インフルエンザ注意報」発令中!](#)」をご覧ください。
3. [梅毒](#) は、2024 年第 49 週に 2 名の報告があり、2024 年の累計報告数は 323 名となりました。今年は県内において 1999 年の感染症法施行以降で年間報告数が最多となった昨年を超えています (2023 年の年間報告数 316 名)。詳しくは、岡山県感染症情報センターホームページ「[梅毒について](#)」をご覧ください。
4. [マイコプラズマ肺炎](#) は、県全体で 10 名の報告があり、前週から減少しました (定点あたり 4.60 → 2.00 人)。この感染症は、小児や若い人の肺炎の原因として比較的多くみられ、主な症状は発熱、全身倦怠感、頭痛、せき (解熱後も長期にわたって続く) などです。詳しくは「[今週の注目感染症](#)」をご覧ください。

季節性インフルエンザ・新型コロナウイルス感染症等

感染拡大防止のためのポイント

- ・基本的な感染防止策を徹底しましょう
- ・体調を考慮した行動に努めましょう
- ・適切な受診をお願いします

詳細は以下のホームページをご覧ください。

[新型コロナ保健医療情報ポータル「感染対策」\(疾病感染症対策課\)](#)

疾病名	定点あたり患者数		推移	疾病名	定点あたり患者数		推移
	前週	今週			前週	今週	
インフルエンザ	3.92	6.25	↗	ヘルパンギーナ	0.09	0.02	↘
RSウイルス感染症	0.07	0.06	↘	流行性耳下腺炎	0.04	0.04	→
咽頭結膜熱	0.11	0.26	↗	急性出血性結膜炎	0.00	0.00	→
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.72	1.63	→	流行性角結膜炎	0.33	0.58	↗
感染性胃腸炎	3.43	3.41	→	細菌性髄膜炎	0.00	0.20	↗
水痘	0.04	0.11	↗	無菌性髄膜炎	0.00	0.00	→
手足口病	1.09	1.35	↗	マイコプラズマ肺炎	4.60	2.00	↘
伝染性紅斑	0.04	0.09	↗	クラミジア肺炎	0.00	0.00	→
突発性発しん	0.15	0.26	↗	感染性胃腸炎（ロタウイルス）	0.00	0.00	→

【記号の説明】 前週からの推移 ↗：増加 →：ほぼ増減なし ↘：減少 増加・減少：前週比10%以上の増減

年末年始に海外へ渡航される方へ

海外には、日本国内に存在しない感染症が多くあります。
渡航先の感染症に対する予防対策が必要です。

出発前の注意

- ・感染症に対する正しい知識と予防方法を身に付けましょう。
- ・渡航先の感染症の発生状況に関する最新の情報や注意事項を確認しましょう。
- ・これまで受けた予防接種について確認し、予防対策が不十分なものがあれば、予防接種を検討しましょう。

旅行中の注意

- ・生水、氷、カットフルーツ、サラダや生乳など、火が通っていないものを飲食することは避けましょう。
- ・肌の露出を少なくする、こまめに虫よけ剤を使用するなど蚊やダニに刺されないように注意しましょう。
- ・動物には、むやみに近づいたり、触らないようにしましょう。（狂犬病や鳥インフルエンザなどのウイルスをもっていることがあります。）
- ・帰宅後は、しっかり手洗いをしましょう。



©岡山県「ももっち・うらっち」

帰国した後に

- ・帰国時に発熱や下痢などの症状がある方は、空港または海港の検疫所に相談してください。
- ・帰国時に症状がなくても、その後体調が悪くなったときは、早めに医療機関を受診し、その際は必ず渡航先も伝えてください。

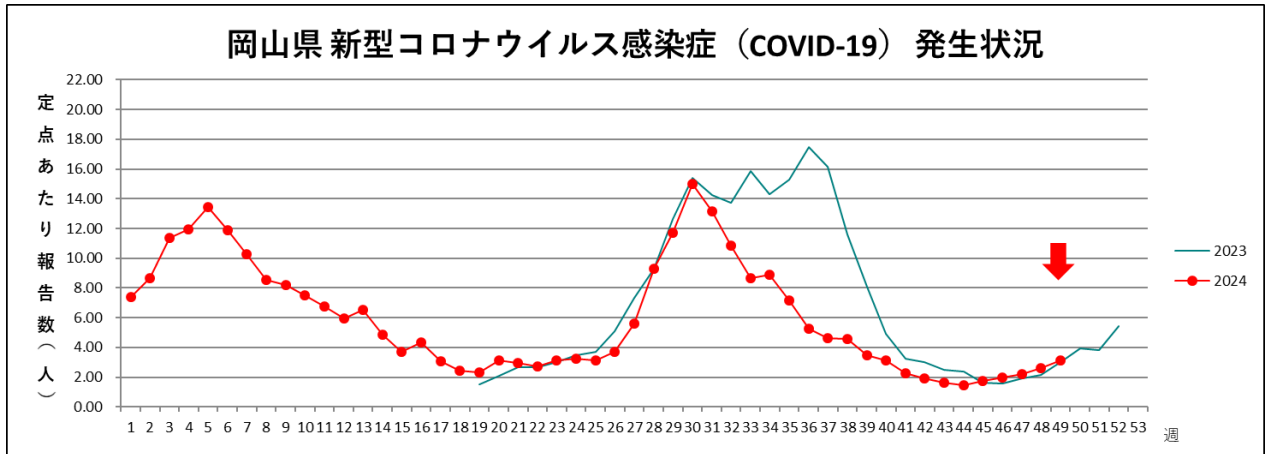
[海外へ渡航される皆様へ（厚生労働省）](#)

[海外へ渡航される皆さまへ！（厚生労働省検疫所 FORTH）](#)

★新型コロナウイルス感染症（COVID-19）情報

岡山県の流行状況（第 49 週（12 / 2 ～ 12 / 8））

○新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は、県全体で 265 名（定点あたり 3.15 人）の報告がありました（84 定点医療機関報告）。



※ 2023 年は定点把握対象へ移行した第 19 週から表示しています。

※ 全数把握時のデータは[こちら](#)

※ 2023 年 5 月 7 日（2023 年第 18 週）までの全数把握の患者数をもとに、2023 年 5 月 8 日以降の定点医療機関からの報告患者数を抽出して集計した患者数の推移（参考値）は[こちら](#)をご覧ください。→ [厚生労働省 HP](#)

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は、県全体で 265 名の報告があり、前週から増加しました（定点あたり 2.62 → 3.15 人）。地域別では、備北地域（8.33 人）、倉敷市（4.81 人）、備中地域（3.92 人）の順で定点あたり報告数が多くなっています。年代別では、40 代および 80 代以上を除く年代で前週から増加しました。

基本的な感染防止策（効果的な場面でのマスク着用、手洗い等の手指衛生、換気、3 密（密閉・密集・密接）の回避、健康的な日常生活、体調不良時の備え）に留意し、自主的な判断により実施しましょう。

●新型コロナウイルス感染症（COVID-19）とは

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は、世界中で流行が継続している呼吸器症状などを呈する感染症です。咳やくしゃみ、会話などの際に排出される、ウイルスを含んだ飛沫・エアロゾル（飛沫より更に小さな水分を含んだ状態の粒子）を吸入することで感染すると考えられます。通常は感染者に近い距離（1m 以内）で感染しますが、エアロゾルは 1m を超えて空気中に留まりうることから、換気が不十分な環境では、感染が拡大するリスクがあります。

●症状

日本で流行の主流となっているオミクロン株は、潜伏期間が 2～3 日と短く、また、発症前からウイルスを排出し、感染源となることが分かっています。上気道で増殖しやすい特性から、従来株（デルタ株等）に比べ、鼻汁・頭痛・倦怠感・咽頭痛などの風邪様症状の頻度が増加している一方で、嗅覚・味覚障害の頻度の減少が報告されています。しかしながら、肺炎が進展し、重症化する例も少なからず認められます。特に高齢者や基礎疾患（慢性閉塞性肺疾患（COPD）、慢性腎臓病、糖尿病、高血圧、肥満など）のある方がり患すると、重症化する割合が高い傾向にあるとされており、注意が必要です。また、妊婦では妊娠後期に感染すると、早産率が高まり、患者本人も一部は重症化することが報告されています。（[新型コロナウイルスに関する Q&A（一般の方向け）（厚生労働省）](#)）。

●ワクチン接種について

ワクチンは新型コロナウイルス感染症にかかった場合に重症化を予防する効果があるとされています。

ワクチンの全額公費による接種は終了しましたが、令和 6 年 10 月から次の方を対象にお住まいの市町村による定期接種が始まりました。

・ 65 歳以上の方

・ 60～64 歳で、心臓、腎臓または呼吸器の機能に障害があり、身の回りの生活が極度に制限される方、ヒト免疫不全ウイルス（HIV）により免疫の機能に障害があり、日常生活がほとんど不可能な方

詳しくは以下をご覧ください。

・ [新型コロナウイルスワクチンについて（厚生労働省）](#)

・ [新型コロナウイルスワクチンについて（岡山県疾病感染症対策課）](#)

なお、罹患後症状（いわゆる後遺症）については、以下をご覧ください。

・ [罹患後症状のマネジメント・第 3.0 版（2023 年 10 月 20 日発行）](#)

・ [『新型コロナウイルス感染症罹患後も続く症状（後遺症）にお悩みの方へ』（岡山県ホームページ）](#)



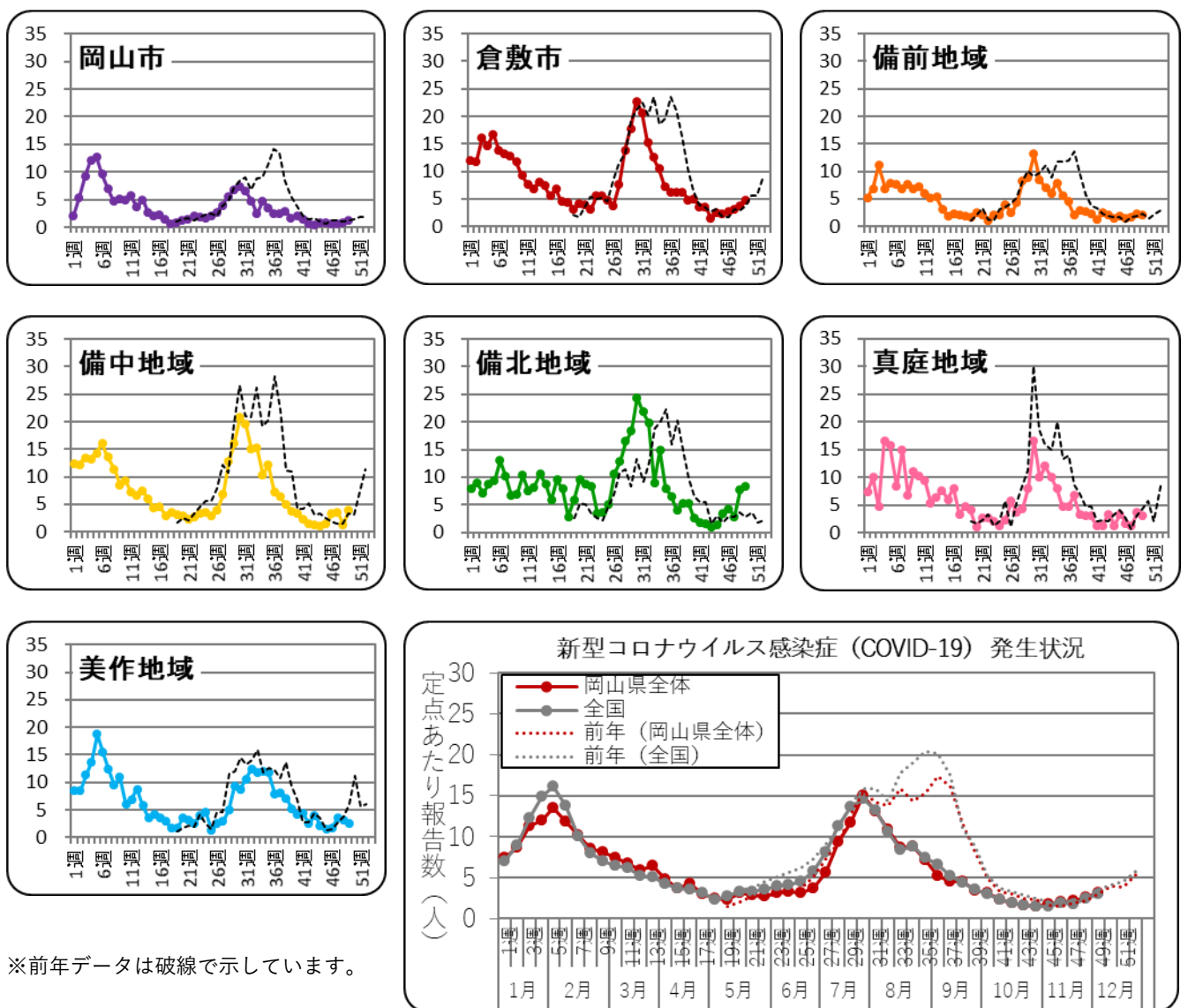
© 岡山県「ももっち」

基本的な感染症対策！

1. 地域別発生状況

地域名	発生状況 (人)		推移	地域名	発生状況 (人)		推移
岡山県全体	患者数	265	↑	備 中	患者数	47	↑
	定点あたり	3.15			定点あたり	3.92	
岡山市	患者数	26	↑	備 北	患者数	50	↑
	定点あたり	1.18			定点あたり	8.33	
倉敷市	患者数	77	↑	真 庭	患者数	9	↑
	定点あたり	4.81			定点あたり	3.00	
備 前	患者数	30	↑	美 作	患者数	26	↑
	定点あたり	2.00			定点あたり	2.60	

【記号の説明】 前週からの推移 ↑ : 大幅な増加 ↗ : 増加 → : ほぼ増減なし ↘ : 減少 ↓ : 大幅な減少
 大幅 : 前週比 100%以上の増減 増加・減少 : 前週比 10~100%未満の増減



※前年データは破線で示しています。

○全国の発生状況

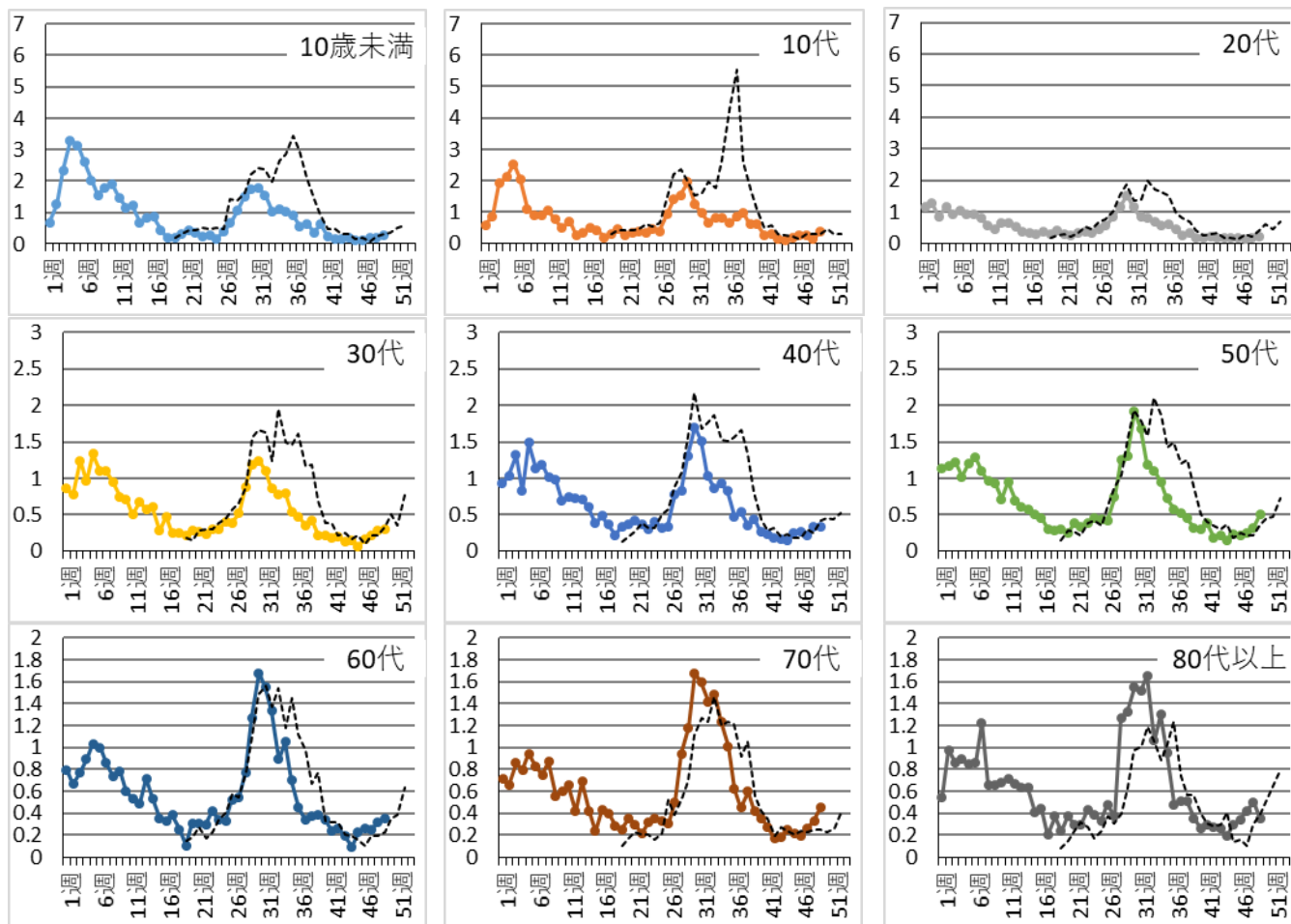
全国集計 2024 年第 49 週速報値 (2024 年 12 月 11 日時点) によると、全国の定点あたり報告数は 3.07 人となり、前週から増加しました。

2. 年齢別発生状況

○第49週 (単位：名)

合計	0-3歳	4-6歳	7-9歳	10-14歳	15-19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
265	16	4	2	19	12	18	26	28	42	30	38	30

○年齢階級別の定点あたり報告数の推移



※前年データは破線で示しています。

📢 留意点：年齢階級別の報告数の考え方について

定点医療機関は、小児科定点(54 医療機関)が内科定点(30 医療機関)に比べて多いため、報告数は小児に偏ります。一方で、年齢階級別の報告数により、経時的な流行全体の傾向(トレンド)と水準(レベル)の把握および年齢階級ごとにおける流行の傾向と水準を把握することができます。

3. 新型コロナウイルス検出状況 (ゲノム解析)

ゲノム解析の状況は以下のホームページをご覧ください。

○岡山県の状況

→ [新型コロナウイルスのゲノム解析 \(岡山県感染症情報センター\)](#)

○全国の状況

→ [SARS-CoV-2 変異株について \(国立感染症研究所\)](#)

4. 入院状況

【入院基幹定点サーベイランス】

基幹定点医療機関（岡山県の基幹定点数：5）から新型コロナウイルス感染症（COVID-19）による入院患者数等の報告（週単位）を受けて、入院患者の発生動向や重症化の傾向を経時的に把握することを目的としています。2023年9月25日（第39週）から開始しました（インフルエンザについても同様のサーベイランスが既に行われています。）。

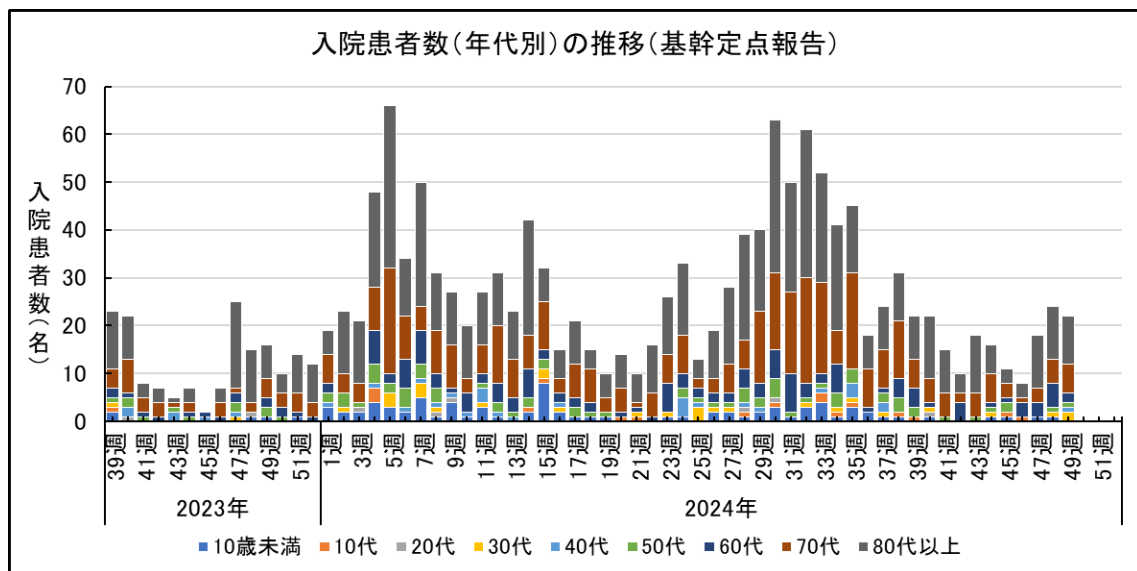
○入院基幹定点サーベイランス（県内基幹定点 5 医療機関による報告）

【第49週 入院患者報告数】

年齢	1歳未満	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計*
入院患者数							2	1	1	2	6	10	22
ICU入室*											1		1
人工呼吸器の利用*												1	1
いずれにも該当せず							2	1	1	2	5	9	20

*重複あり

【入院患者数（年代別）の推移】



今週の注目感染症

★マイコプラズマ肺炎

●マイコプラズマ肺炎とは

マイコプラズマ肺炎は、「肺炎マイコプラズマ」という細菌に感染することによって起こる呼吸器感染症です。小児や若い人の肺炎の原因として、比較的多くみられ、例年、患者の6～8割は14歳以下です。マイコプラズマ肺炎は1年を通じて発生しますが、秋冬に増加する傾向があります。

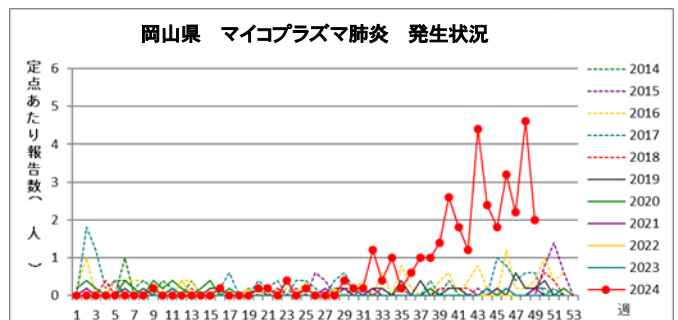
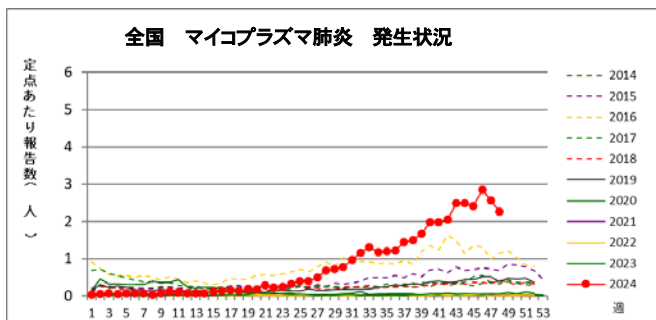
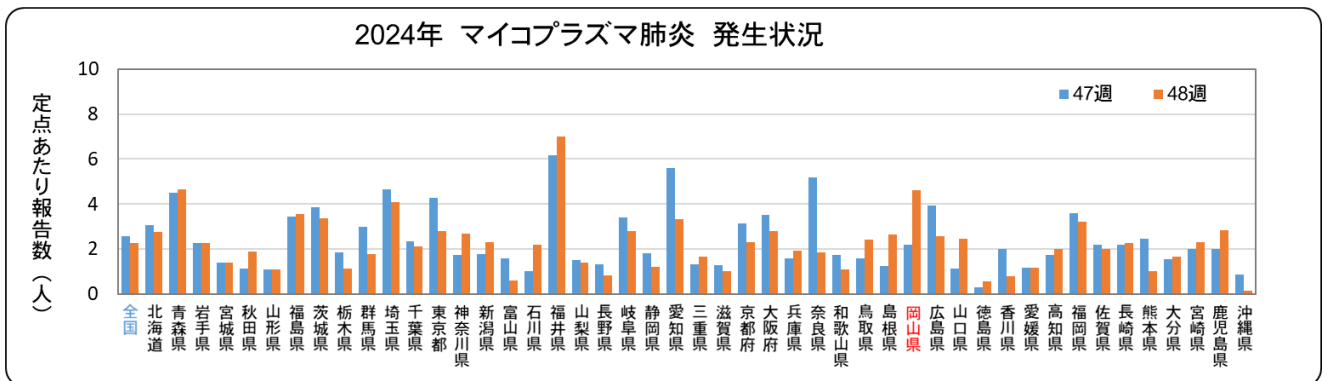
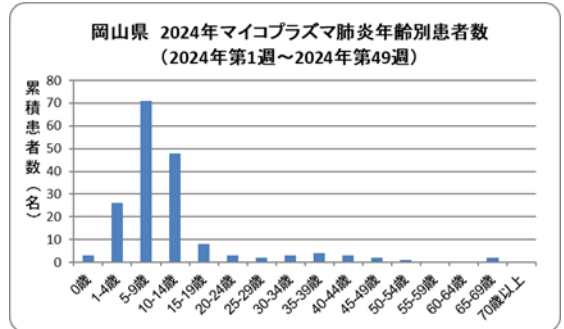
感染経路は、飛沫感染や接触感染であり、家庭のほか、学校などでも感染の伝播がみられます。感染してから発症するまでの潜伏期間は長く、2～3週間とされています。

主な症状は発熱や全身の倦怠感、頭痛、せきなどです。せきは遅れて始まることもあり、熱が下がった後も長期にわたって(3～4週間)続くのが特徴です。多くの人は気管支炎程度の軽い症状で済みますが、一部の人は肺炎を発症し、重症化します。また、中耳炎、胸膜炎、心筋炎、髄膜炎などを併発する症例も報告されています。

●発生状況

全国の第48週(11/25～12/1)のマイコプラズマ肺炎の報告数は前週から減少しましたが(定点あたり2.57→2.27人)、過去10年間の同時期と比較して最も多くなっています。都道府県別では福井県(7.00人)、青森県(4.67人)、岡山県(4.60人)の順で定点あたり報告数が多くなっています。

岡山県では第49週(12/2～12/8)は県全体で10名の報告があり(5定点医療機関報告)、前週から減少しました(定点あたり4.60→2.00人)。地域別では、岡山市で5名、倉敷市で5名の報告がありました。年齢別では、第49週までで14歳以下が全体の84%を占めています。



●治療・予防方法

マクロライド系などの抗菌薬で治療します(成人で、肺炎を伴わない気管支炎であれば、抗菌薬による治療を行わないことが推奨されています)。また、マクロライド系抗菌薬が効かない「耐性菌」に感染した場合は他の抗菌薬で治療します。

予防としては、患者との濃厚接触やタオルの共用を避け、せっけんや流水による手洗いの実施、マスク着用を含む咳エチケットなどの一般的な感染防止策が効果的とされています。

せきが長引くなどの症状がある時は、医療機関を受診するようにしましょう。

詳しくはこちらをご覧ください⇒[マイコプラズマ肺炎\(厚生労働省\)](#)

[マイコプラズマ肺炎に関するQ&A\(厚生労働省\)](#)

[マイコプラズマ肺炎とは\(国立感染症研究所\)](#)

風しんの抗体検査(無料)を受けましょう!

<妊娠を希望する女性や同居する家族の方>

岡山県・岡山市・倉敷市では、先天性風しん症候群(CRS)※の予防を目的として、**風しんの無料抗体検査**を実施しています。

県内の抗体検査実施医療機関において、窓口で費用を負担することなく検査を受けることができます。検査の詳細は、下記のホームページ

岡山市・倉敷市以外 → [風しんの無料抗体検査が受けられます](#) (岡山県疾病感染症対策課)

岡山市 → [風しんの無料抗体検査](#)

倉敷市 → [風しん抗体検査について](#)

をご覧ください。

<1962(昭和37)年4月2日から1979(昭和54)年4月1日までに生まれた男性>

風しんの抗体保有率が低い1962年4月2日から1979年4月1日までに生まれた男性に対して、まずは**無料で抗体検査**を受け、**抗体価が低い場合は風しんの予防接種を無料で受けることができる**制度が、実施されています(2025年3月31日まで)。

以下の医療機関で、無料の抗体検査が受けられます。

[市町村から届いたクーポン券を使用できる岡山県内の医療機関リスト](#)

※妊娠初期に風しんに罹患すると、出生児に先天性風しん症候群(CRS)と総称される障がいを引き起こすことがあります。先天性心疾患、難聴、白内障が3大症状です。

岡山県の2019年4月~2024年8月の風しんのクーポン使用実績(抗体検査)は、35.4%と未だに低い状況です!

CRSを防ぐためにも、必要な方は確実に予防接種を受けましょう!

[風しんの追加的対策について\(厚生労働省\)](#)
[風疹に関する疫学情報\(国立感染症研究所\)](#)
[“風疹ゼロ”プロジェクト\(日本産婦人科医会\)](#)



© 岡山県「ももっち・うらっち」

インフルエンザ週報 2024年 第49週 (12月2日～12月8日)

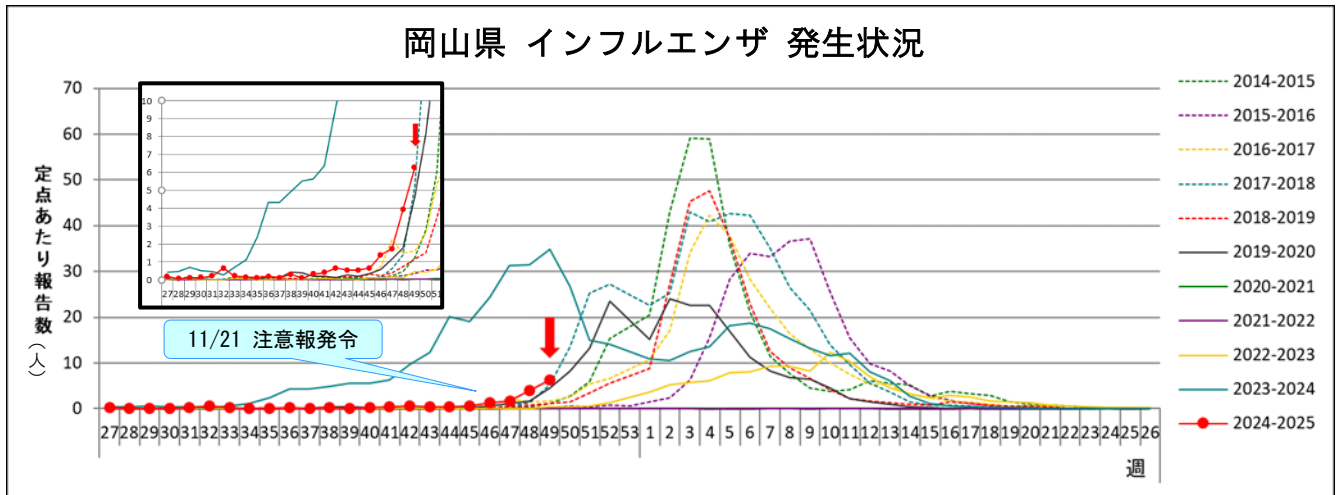
岡山県は『インフルエンザ注意報』発令中です

岡山県の流行状況

- インフルエンザは、県全体で525名（定点あたり6.25人）の報告がありました（84定点医療機関報告）。
- インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業が21施設でありました。
- インフルエンザによる入院患者4名の報告がありました。

【第50週 速報】

- インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業が31施設でありました（12月9日～11日）。



インフルエンザは、県全体で525名の報告があり、前週から増加しました（定点あたり3.92 → 6.25人）。岡山県は11月21日に「インフルエンザ注意報」を発令し、広く注意を呼びかけています。地域別では、備中地域および備北地域（8.50人）、倉敷市（8.44人）の順で定点あたり報告数が多くなっています。県内の発生状況に注意するとともに、基本的な感染防止策（場面に応じたマスクの着用、手洗い等の手指衛生、人混みを避ける）、健康的な日常生活、あらかじめの備え（早めのワクチン接種）等に留意し、感染予防・感染対策に努めましょう。

◆インフルエンザの流行拡大が懸念されます！ 感染に注意しましょう◆

【予防と対策】

- 基本的な感染防止対策
 - ・場面に応じたマスクの着用、手洗い、手指消毒の実施
 - ・室内の適度な湿度の設定、定期的な空気の入換え
 - ・高齢者や基礎疾患のある方などは、人混みを避ける
- 健康的な日常生活
 - ・十分な休養、バランスのとれた食事
- あらかじめの備え
 - ・早めのインフルエンザワクチン接種

【発熱等の症状が出た時は】

- 早めに医療機関を受診する
 - 周りの方へうつさないように「咳エチケット」を！
 - 水分を十分にとり、安静にして休養をとる
- ⇒ 詳細は岡山県ホームページ [『インフルエンザ対策について』](#) をご覧ください。

1. 地域別発生状況

地域名	発生状況 (人)		推移	地域名	発生状況 (人)		推移
岡山県全体	患者数	525	↑	備 中	患者数	102	↑
	定点あたり	6.25			定点あたり	8.50	
岡山市	患者数	102	↑	備 北	患者数	51	↑
	定点あたり	4.64			定点あたり	8.50	
倉敷市	患者数	135	↑	真 庭	患者数	16	↑
	定点あたり	8.44			定点あたり	5.33	
備 前	患者数	66	↑	美 作	患者数	53	↑
	定点あたり	4.40			定点あたり	5.30	

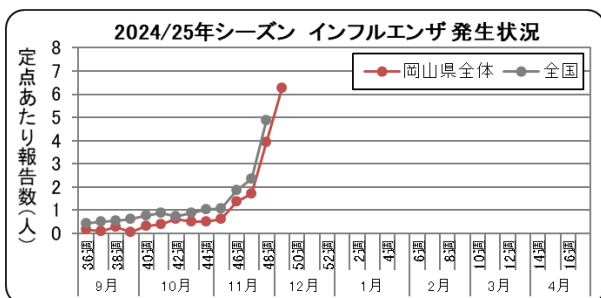
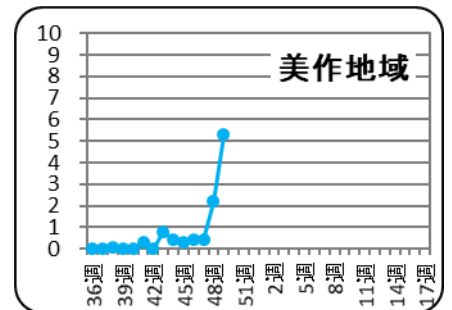
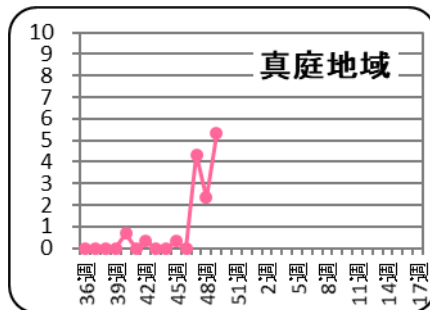
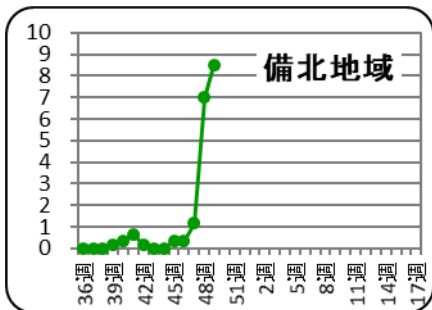
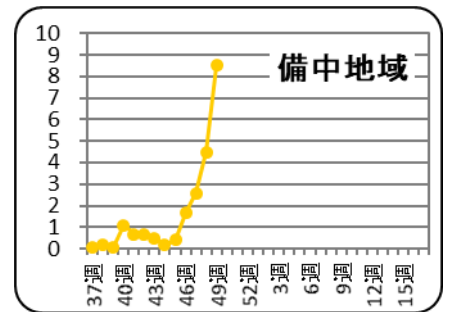
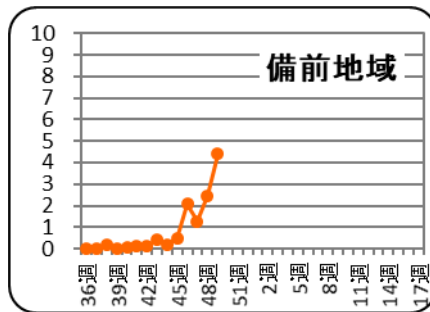
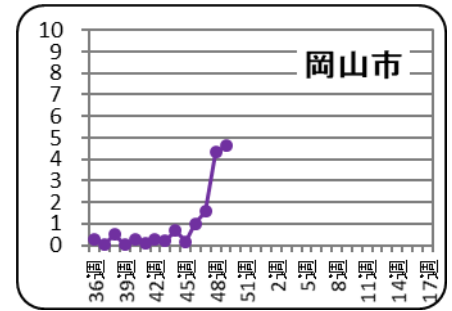
【記号の説明】 前週からの推移 ↑ : 大幅な増加 ↗ : 増加 → : ほぼ増減なし ↘ : 減少 ↓ : 大幅な減少
 大幅 : 前週比 100%以上の増減 増加・減少 : 前週比 10~100%未満の増減

インフルエンザ感染症マップ



<インフルエンザ発生レベル 基準>

レベル3		レベル2
開始基準値	終息基準値	基準値
30	10	10 以上 30 未満
レベル1		報告なし
基準値		基準値
0 < 10 未満		0

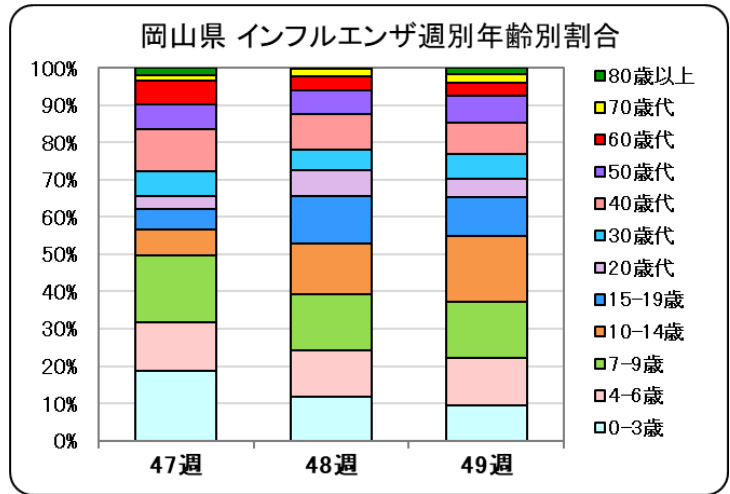
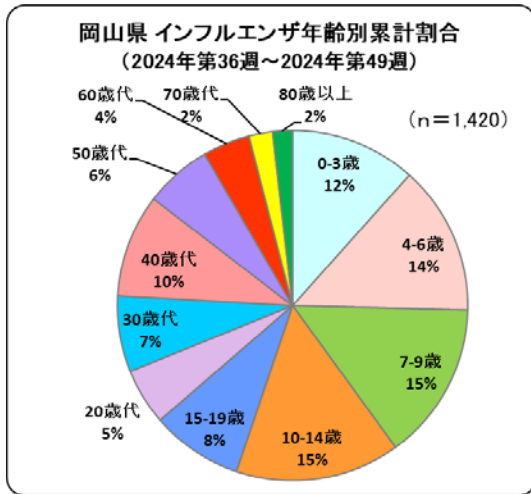


全国集計 2024 年第 48 週 (11/25~12/1) 速報値によると、全国の定点あたり報告数は 4.86 人となりました。

都道府県別では、福岡県 (11.43 人)、長野県 (9.07 人)、千葉県 (8.18 人) の順で定点あたり報告数が多くなっています。46 都道府県で前週の報告数から増加しました。

[インフルエンザの発生状況について \(厚生労働省\)](#)

2. 年齢別発生状況



留意点: 年齢階級別の報告数の考え方について

定点医療機関は、小児科定点(54 医療機関)が内科定点(30 医療機関)に比べて多いため、報告数は小児に偏ります。

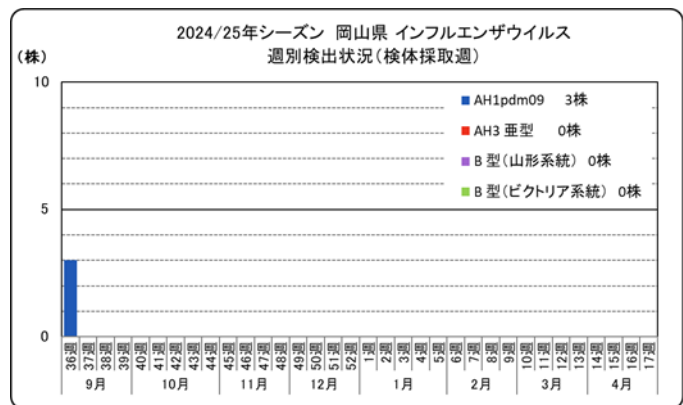
3. インフルエンザウイルス検出状況

【岡山県】

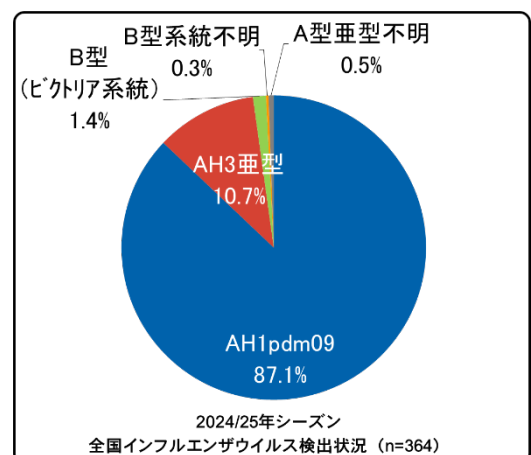
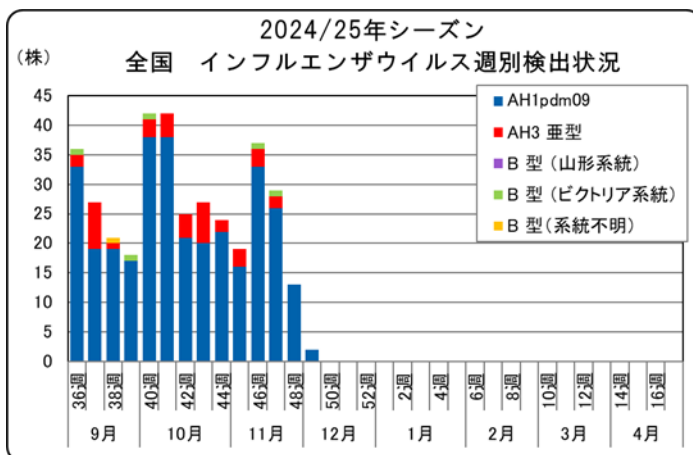
今シーズン、これまでに環境保健センターで検出されたインフルエンザウイルスは3株で、全てがAH1pdm09となっています。

【全国】

今シーズン、これまでに検出されたインフルエンザウイルスは、AH1pdm09が317株、AH3亜型が39株、B型(ビクトリア系統)が5株、B型系統不明が1株、A型亜型不明が2株となっています(12月10日現在)。

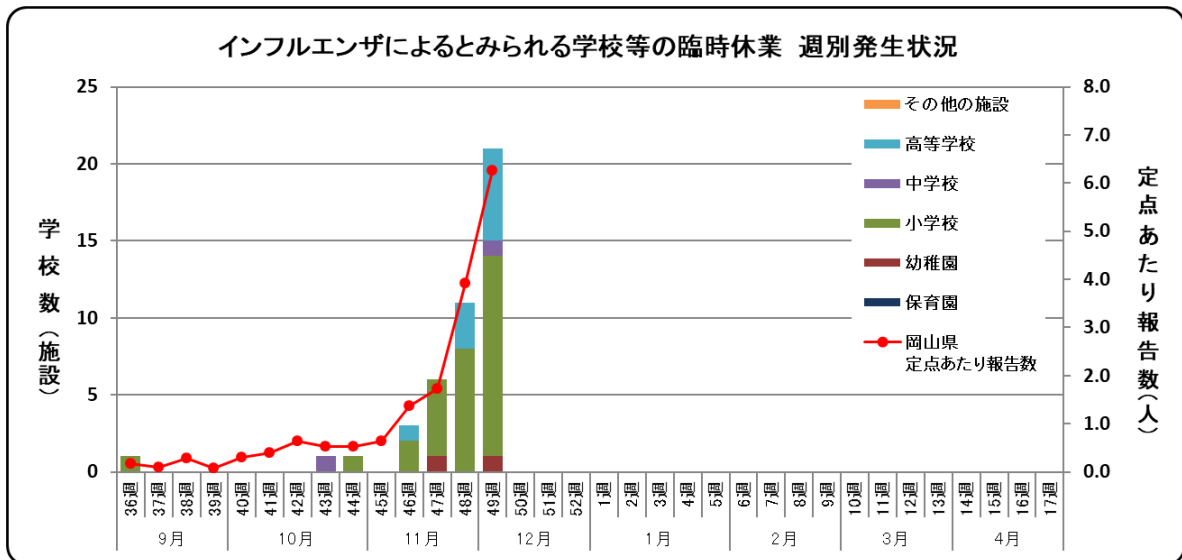


インフルエンザウイルス分離・検出速報(国立感染症研究所)



4. インフルエンザ様疾患による学校等の臨時休業施設数

インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業が、21施設でありました。



臨時休業施設数の内訳

	保育園	幼稚園	小学校	中学校	高等学校	その他	計
第49週	0	1	13	1	6	0	21
累計	0	2	30	2	10	0	44

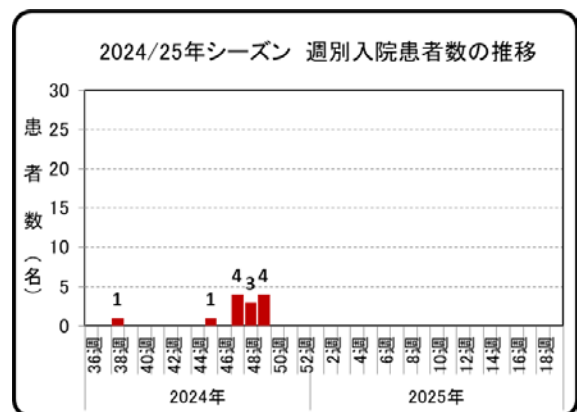
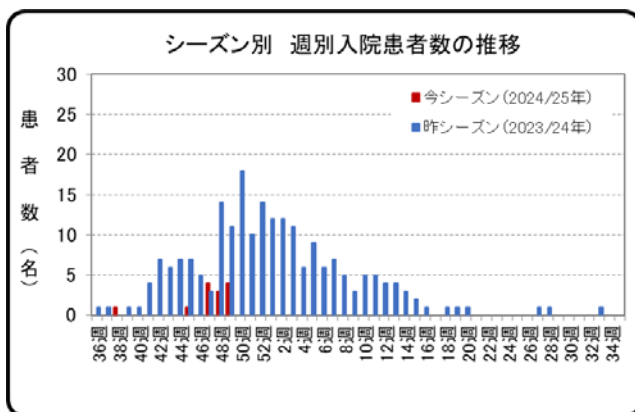
最新の臨時休業の情報については以下のホームページをご覧ください。

→ [\(R6年度シーズン\) 岡山県内の学校等におけるインフルエンザとみられる臨時休業](#)

5. インフルエンザによる入院患者報告数（県内基幹定点 5 医療機関による報告）

インフルエンザによる入院患者は、4名（1～4歳1名、10～14歳1名、15～19歳1名、70～79歳1名）の報告がありました。

幼児や高齢者、慢性疾患・代謝疾患をもつ人、免疫機能が低下している人などでは重症化することがありますので、注意が必要です。幼児ではまれに急性脳症を起こすことがあります。水分をとった後すぐ吐いてしまう、元気がない、意識がはっきりせずウトウトしている、けいれんを起こす、このような症状がみられるときは、すぐに医療機関を受診しましょう。



【第 49 週 入院患者報告数】

年齢	1歳未満	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計*
入院患者数		1		1	1						1		4
ICU入室*													
人工呼吸器の利用*													
頭部CT検査(予定含)*				1									1
頭部MRI検査(予定含)*													
脳波検査(予定含)*				1									1
いずれにも該当せず		1			1						1		3

* 重複あり

【2024年9月2日(第36週)以降に入院した患者の累計数】

年齢	1歳未満	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計*
入院患者数	1	2	1	1	1				1	3	1	2	13
ICU入室*			1							2			3
人工呼吸器の利用*													
頭部CT検査(予定含)*			1	1									2
頭部MRI検査(予定含)*													
脳波検査(予定含)*				1									1
いずれにも該当せず	1	2			1				1	1	1	2	9

* 重複あり

[令和6年度 インフルエンザQ&A\(厚生労働省\)](#)

[令和6年度 今シーズンのインフルエンザ総合対策について\(厚生労働省\)](#)

保健所別報告患者数 2024年 49週(定点把握)

(2024/12/02～2024/12/08)

2024年12月12日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	525	6.25	102	4.64	135	8.44	66	4.40	102	8.50	51	8.50	16	5.33	53	5.30
RSウイルス感染症	3	0.06	-	-	3	0.27	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	14	0.26	6	0.43	-	-	1	0.10	2	0.29	-	-	1	0.50	4	0.67
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	88	1.63	16	1.14	37	3.36	2	0.20	28	4.00	-	-	2	1.00	3	0.50
感染性胃腸炎	184	3.41	68	4.86	27	2.45	42	4.20	21	3.00	8	2.00	2	1.00	16	2.67
水痘	6	0.11	2	0.14	1	0.09	1	0.10	1	0.14	-	-	-	-	1	0.17
手足口病	73	1.35	40	2.86	7	0.64	2	0.20	6	0.86	1	0.25	3	1.50	14	2.33
伝染性紅斑	5	0.09	4	0.29	-	-	-	-	1	0.14	-	-	-	-	-	-
突発性発疹	14	0.26	6	0.43	1	0.09	2	0.20	5	0.71	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	1	0.02	-	-	1	0.09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	2	0.04	-	-	-	-	-	-	2	0.29	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	7	0.58	1	0.20	6	1.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎	1	0.20	-	-	1	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	10	2.00	5	5.00	5	5.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(- : 0 or 0.00) (空白 : 定点なし)

保健所別報告患者数 2024年 49週(発生レベル設定疾患)

(2024/12/02～2024/12/08)

2024年12月12日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	525	6.25	102	4.64	135	8.44	66	4.40	102	8.50	51	8.50	16	5.33	53	5.30
咽頭結膜熱	14	0.26	6	0.43	-	-	1	0.10	2	0.29	-	-	1	0.50	4	0.67
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	88	1.63	16	1.14	37	3.36	2	0.20	28	4.00	-	-	2	1.00	3	0.50
感染性胃腸炎	184	3.41	68	4.86	27	2.45	42	4.20	21	3.00	8	2.00	2	1.00	16	2.67
水痘	6	0.11	2	0.14	1	0.09	1	0.10	1	0.14	-	-	-	-	1	0.17
手足口病	73	1.35	40	2.86	7	0.64	2	0.20	6	0.86	1	0.25	3	1.50	14	2.33
伝染性紅斑	5	0.09	4	0.29	-	-	-	-	1	0.14	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	1	0.02	-	-	1	0.09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	2	0.04	-	-	-	-	-	-	2	0.29	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	7	0.58	1	0.20	6	1.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

今週、岡山県地区別感染症マップにおいて、レベル2、レベル3に該当するものではありませんでした。

(- : 0 or 0.00) (空白 : 定点なし)

感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 (2024年 第49週 2024/12/02～2024/12/08)

疾病名	合計	-6ヶ月-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～	
インフルエンザ	525	4	4	14	10	17	14	25	28	32	23	24	94	54	26	35	44	38	18	12	9

疾病名	合計	-6ヶ月-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20～	
RSウイルス感染症	3	1	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱	14	-	-	3	3	1	3	2	1	-	-	-	-	1	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	88	-	-	-	3	6	9	13	11	6	16	8	15	-	1
感染性胃腸炎	184	4	8	21	26	19	18	13	10	10	11	4	18	3	19
水痘	6	-	-	1	-	-	-	-	2	-	1	1	1	-	-
手足口病	73	1	2	27	14	8	11	4	2	-	-	1	2	1	-
伝染性紅斑	5	-	-	1	-	-	-	-	2	-	1	1	-	-	-
突発性発疹	14	-	2	10	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	2	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-

疾病名	合計	-6ヶ月-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70～	
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	7	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	2	-	2	-	-	-

疾病名	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70～
細菌性髄膜炎	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	10	-	1	7	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(- : 0)

保健所別

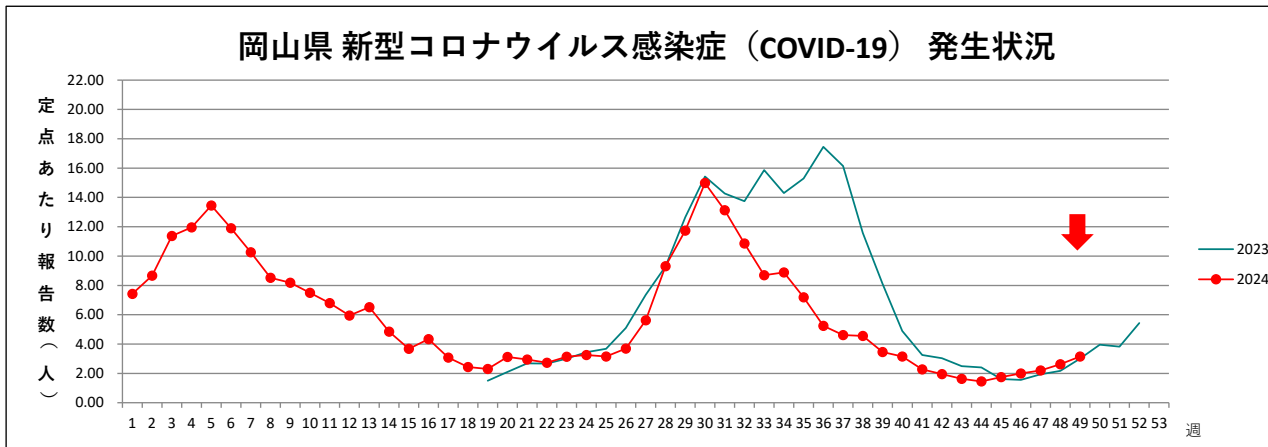
疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)	265	3.15	26	1.18	77	4.81	30	2.00	47	3.92	50	8.33	9	3.00	26	2.60

(- : 0 or 0.00)

年齢別

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80~
新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)	265	5	5	4	1	1	2	-	2	-	1	1	19	12	18	26	28	42	30	38	30

(- : 0)



全数把握 感染症患者発生状況

2024年 49週

分類	疾病名	2024		2023	疾病名	2024		2023	疾病名	2024		2023
		今週	累計	昨年		今週	累計	昨年		今週	累計	昨年
一類	エボラ出血熱	-	-	-	クリミア・コンゴ出血熱	-	-	-	痘そう	-	-	-
	南米出血熱	-	-	-	ペスト	-	-	-	マールブルグ病	-	-	-
	ラッサ熱	-	-	-								
二類	急性灰白髄炎	-	-	-	結核	1	224	211	ジフテリア	-	-	-
	重症急性呼吸器症候群	-	-	-	中東呼吸器症候群	-	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)	-	-	-
	鳥インフルエンザ(H7N9)	-	-	-								
三類	コレラ	-	-	-	細菌性赤痢	-	1	1	腸管出血性大腸菌感染症	-	61	104
	腸チフス	-	2	1	パラチフス	-	-	-				
四類	E型肝炎	-	1	2	ウエストナイル熱	-	-	-	A型肝炎	-	4	-
	エキノコックス症	-	-	-	エムポックス	-	-	1	黄熱	-	-	-
	オウム病	-	-	1	オムスク出血熱	-	-	-	回帰熱	-	-	-
	キャサヌル森林病	-	-	-	Q熱	-	-	-	狂犬病	-	-	-
	コクシジオイデス症	-	-	-	ジカウイルス感染症	-	-	-	重症熱性血小板減少症候群	-	1	4
	腎症候性出血熱	-	-	-	西部ウマ脳炎	-	-	-	ダニ媒介脳炎	-	-	-
	炭疽	-	-	-	チクングニア熱	-	-	-	つつが虫病	-	-	4
	デング熱	-	-	-	東部ウマ脳炎	-	-	-	鳥インフルエンザ	-	-	-
	ニパウイルス感染症	-	-	-	日本紅斑熱	-	21	13	日本脳炎	-	-	-
	ハンタウイルス肺症候群	-	-	-	Bウイルス病	-	-	-	鼻疽	-	-	-
	ブルセラ症	-	-	-	ベネズエラウマ脳炎	-	-	-	ヘンドラウイルス感染症	-	-	-
	発しんチフス	-	-	-	ボツリヌス症	-	-	-	マラリア	-	-	-
	野兔病	-	-	-	ライム病	-	-	-	リッサウイルス感染症	-	-	-
	リフトバレー熱	-	-	-	類鼻疽	-	-	-	レジオネラ症	-	40	50
	レプトスピラ症	-	-	-	ロッキー山紅斑熱	-	-	-				
五類	ア메ーバ赤痢	-	8	11	ウイルス性肝炎	-	5	4	カルバベナム耐性腸内細菌目細菌感染症	1	32	28
	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く。)	-	3	1	急性脳炎	1	10	11	クリプトスポリジウム症	-	-	-
	クロイツフェルト・ヤコブ病	-	1	-	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	-	30	10	後天性免疫不全症候群	-	7	5
	ジアルジア症	-	1	1	侵襲性インフルエンザ菌感染症	-	11	10	侵襲性髄膜炎菌感染症	-	3	-
	侵襲性肺炎球菌感染症	-	31	35	水痘(入院例に限る。)	-	11	5	先天性風しん症候群	-	-	-
	梅毒	2	323	316	播種性クリプトコックス症	-	5	2	破傷風	-	-	4
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	-	-	-	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	-	-	2	百日咳	2	18	22
	風しん	-	-	-	麻しん	-	-	-	薬剤耐性アシネトバクター感染症	-	-	2

